

設定温度の見直し

- 管理温度と実温度に乖離(実温度が下がり過ぎ)がある場合、設定温度を適正にすることで節電になります。
(商品の過冷状態が緩和されて冷凍機の消費電力(kW)が下がります)

試算例

設定温度の見直しをすると...

■ 節電効果 : **節電効果 3万円/年** 【業務用電力単価を適用】
節電電力 約 0.4kW
節電電力量 約 1,500kWh

■ 対策内容 : 設定温度の適正化

■ 計算式 : 節電電力(kW) = 消費電力 × 負荷率 × 削減効果
節電電力量(kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

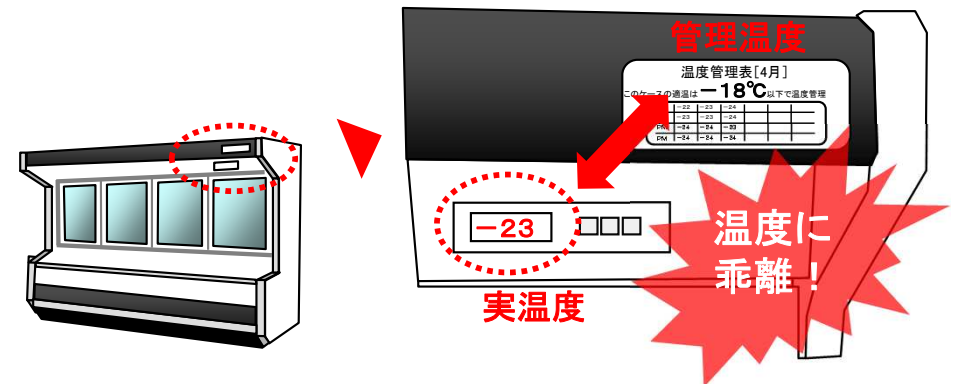
(試算条件)

消費電力: 15kW [ショーケース用冷凍機 × 5台]
負荷率: 40% (仮定)
削減効果: 7% (設定温度1°C上げた場合)
対象時間: 10時間/日 (10:00~20:00)
対象日数: 365日/年

ポイント

- 設定温度見直し時は、商品の品質管理に十分注意をして下さい。
- 保管温度が近い商品毎に陳列することで設定温度を見直しできる場合があります。

参考



ショーケースの管理温度と実温度